

株式会社 東芝
代表執行役社長 佐々木 則夫 様

国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン
事務局長 佐藤 潤一

福島第一原発事故に対する貴社の責任について

先日は、貴社のITやスマートコミュニティ事業のお取り組みについて、CSRご担当の方から事例をご紹介いただきありがとうございました。NGO等のステークホルダーとの対話を重視される姿勢に感謝いたします。

今回は、福島第一原発事故に対する貴社のお考えをお伺いしたく、ご連絡いたしました。

東日本大震災による東京電力の福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故は、甚大な被害を日本全体に及ぼしています。発生から間もなく2年となるにもかかわらず、事故によってそれまでの生活を突然奪われ、大変な不安と困難の中にある方が現在も大勢います。

また、放射能漏れが続く原子炉や燃料プールの安定化、廃炉作業、除染、被害者の方への補償などに必要な資金は東京電力だけで到底まかなえるものではなく、国の支援として多額の税金がすでに投入されています。さらに、こうした費用は長期間にわたり必要となり、莫大な額の税金が費やされることが予想されます。こうした状況から、多くの世論調査等の結果が示すように、少なくとも国民の過半が原発ゼロを望んでいることは、ご存じのとおりです。

一方で、福島第一原発の1、2、3、5、6号機の主要施設を納入した貴社は、原子力損害賠償法により、一切の製造物責任を免れているだけでなく、国内外で原子力事業を基幹電源と位置付け、2017年度に同事業の売上高を1兆円*とする目標を発表しています>(*2012年5月17日発表の貴社中期経営計画より)

原子力事業によって利益を享受し、福島第一原発の原子炉を製造した企業として、このような貴社の姿勢は事故の深刻さを認識したものとはいえ、企業の社会的な責任(CSR)という点で疑問を持たざるを得ません。

貴社ウェブサイトの CSR ページでは、福島第一原発事故について「原子力事業に携わる企業として重く受け止め、グループの総力を挙げて対応を続けています」と、佐々木社長のメッセージ*を掲載していらっしゃいます。しかし、原発事故の責任のとらえ方についてより詳細な貴社のお考えをウェブサイト等で確認することができないため、別紙のとおりご質問いたします。

(*<http://www.toshiba.co.jp/csr/jp/policy/message.htm>)

恐れ入りますが、別紙の質問へのご回答を2013年2月8日(金)までに、書面にいただけますようお願い申し上げます。

なお、質問内容とご回答およびその有無につきましては公開(英訳も含む)させていただくこともありますのでご了承ください。

以上



福島第一原発事故に対する貴社の責任についてのご質問

1) 原子炉メーカーとして、貴社に福島第一原発事故の責任があるとお考えですか？

ある、 ない (いずれか当てはまるものに○印をしてください)

(理由: _____)

2) 福島第一原発事故の廃炉や除染、汚染水処理などの事業を受注していますか？

はい、 いいえ (いずれか当てはまるものに○印をしてください)

(受注額: 約 _____ 円、 該当期間: _____ 年 _____ 月～ _____ 年 _____ 月)

3) 現在、原子炉は製造物責任法(PL法)の適用外とされていますが、福島第一原発事故の被害の状況を考えて時、原子炉メーカーの責任はどのようにあるべきだとお考えですか。

(いずれか当てはまるものに○印をしてください)

- 福島第一原発事故についてもPL法が適用されるべき
- 今後の事故の際にはPL法が適用されるべき
- 現状と変えるべきではない

(理由: _____)

4) 貴社の製造した原子炉で過酷事故がおきましたが、今後も原子炉の製造を続けるお考えですか？

続ける、 続けない (いずれか当てはまるものに○印をしてください)

(理由: _____)

以上

日付:

貴社名:

ご担当者:

ご所属:

お電話番号:

メールアドレス:

GREENPEACE